

平成 19 年 10 月 26 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 黒田 直樹
コード番号 1605 東証第 1 部
問い合わせ先 広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 宮本 修平
電話番号 03-5448-0205

西豪州でのプロジェクト権益の取得について

～イクシスガス・コンデンセート田近傍 3 鉱区権益の新規獲得～

国際石油開発帝石ホールディングス株式会社は、今般、子会社インペックス西豪州ブラウズ石油株式会社を通じて、オーストラリア北西大陸棚沖合 WA-341-P 鉱区、WA-343-P 鉱区および WA-344-P 鉱区の 3 鉱区的全権益を、TOTAL 社とともに、当社 60% (オペレーター)、TOTAL 40% の比率で、ConocoPhillips 社より取得いたしましたので、お知らせいたします。

今回取得した WA-341-P 鉱区 (1,622km²)、WA-343-P 鉱区 (1,214km²) および WA-344-P 鉱区 (665km²) は、当社が TOTAL 社とともに、世界的規模の LNG (含 LPG 及びコンデンセート) プロジェクトとして、鋭意開発を推進している WA-285-P 鉱区イクシスガス・コンデンセート田 (注) の北東部近傍に位置しており、これら 3 鉱区には、いくつかの石油・天然ガスの胚胎の可能性のある構造が抽出されています。従って、これら 3 鉱区での試掘作業により、相当量の原油・天然ガスが発見された場合には、イクシスガス・コンデンセート田の開発との相乗効果など、同地域で展開する当社事業の更なる拡大への貢献が期待されます。

当社は今後ともオーストラリア連邦における当社グループの事業展開に積極的取り組み、更なる石油・天然ガス資産の拡充を図るよう努力してまいります。

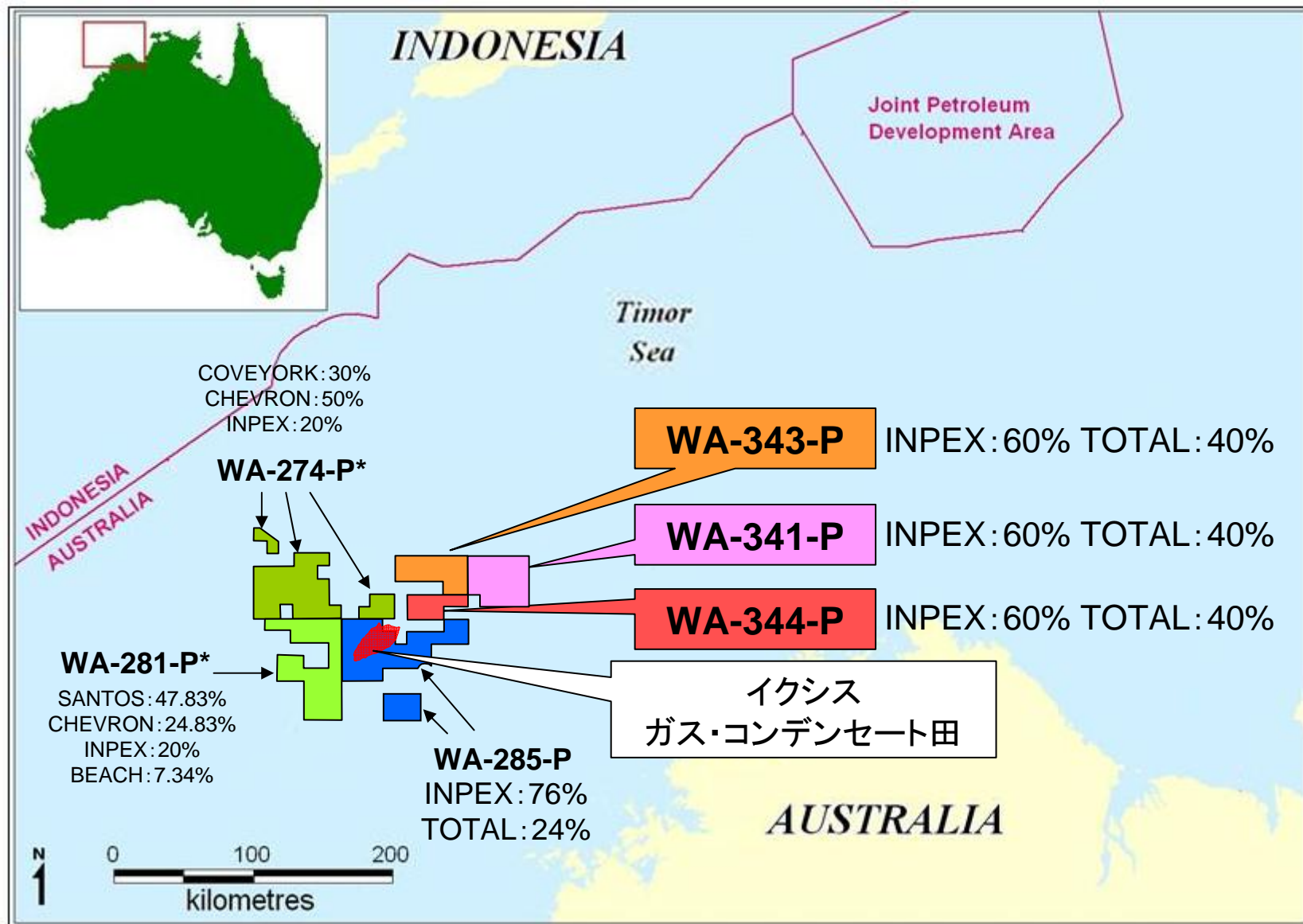
以上

(注) イクシスガス・コンデンセート田開発事業

インペックス西豪州ブラウズ石油株は、100%の権益を保有するオペレーターとして、2000 年に西オーストラリア沖合の WA-285-P 鉱区でイクシスガス・コンデンセート田を発見し、昨年 24%の権益を譲渡した TOTAL 社とともに、2012 年末から液化天然ガス (LNG) 及びコンデンセート・LPG を生産する計画を検討しております。

LNG プラント等は、西オーストラリア沖のマレット島に建設する方針で検討を進めております。

初期生産段階での LNG の生産・販売量は、年間約 760 万トンを予定しておりますが、将来の LNG のマーケット状況、天然ガスの埋蔵量等に照らして追加の LNG 生産・販売について決定する予定です。また、ピーク時おおよそ日産 10 万バレルのコンデンセートおよび LPG の産出を見込んでおります。



* 当社は、2006年6月、WA-281-PおよびWA-274-P両鉱区の各20%の権益を取得

鉱区位置図